令和4年4月7日

令和四年度 入学式 式辞

式辞 満開の桜が見事に咲き誇り、新しい季節が巡って参りました。

本日ここに、茨城県立藤代高等学校第五〇回入学式を挙行できますことは、私たち教職員一同、そして在校生にとりましても大きな喜びであります。

また、この日を待ち望み、お子様の成長を支えてこられた保護者の皆様、誠におめでとうございます。心からお慶び申し上げます。

さて、先ほど入学を許可いたしました 二四一名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんは、自らの意志で、この藤代高校を選び、緊張の中で高校入試を乗り越え、今日のこの日を迎えました。

先ほどの厳粛な中にも、力強い返事は、これからの決意の表れと真摯に受け止め、改めてお祝いを申し上げます。

本校は、一九七三年、昭和四八年に旧藤代町初の全日制普通科の県立高等学校として現在の地に創設して以来、地域に信頼される学校としてその歴史を重ね、今年度五〇周年を迎えることとなり、同窓生も一万余名を数え、行政や教育など様々な分野で活躍をしています。

去る三月一日には、部活動をはじめ、国公立大学合格者が五〇名を超えるなど多様な活躍をした生徒が卒業し、首都圏を始め全国で活躍しようとしています。

本日は来賓の方をお招きしておりませんが、先日は取手市長さんに藤代高校の隣に日本最大級の商業施設の計画を示され、藤代高校とともにさらに、この地域を発展させたいというお言葉もいただいたところです。

そのような本校での高校生活のスタートに当たり、私から皆さんにお願いしておきたいことが一つあります。

「藤高クオリティ」です。人が本来持っている素直さ、温かな心や人を思いやる心を本校では、藤高クオリティとしてその質の

向上を図っています。ともすると世の中は損か得かが行動の判断基準になることが多くあります。

ぜひ、藤代高校生となった皆さんには藤高生としてその行動は正しいのかそうではないのかを行動規範にして藤高生としてプライドある誇り高い行動をしてくれることをお願いいたします。

次に、保護者の皆様に一言お願い申し上げます。

教職員一同、お子様が充実した学校生活を過ごし、確かな知識や学力を身に付けるとともに、豊かな人間性を持った心身共にたくましい人間となるよう指導にあたる所存でございます。

ただ、教育は学校だけで完結するものではありません。学校と家庭との連携が必要不可欠となります。ご理解、ご協力をどうぞよろしくお願い致します。

結びに、コロナを含め、大きな社会変革の中ではありますが、新入生のみなさんの茨城県内はもとより、日本、そして世界を視野に入れたご活躍を期待するとともに、本校での三年間が充実したものとなり、それぞれの輝く素晴らしい未来を創り上げてくれることを祈念致しまして、式辞といたします。

令和四年四月七日

未来創造学園 茨城県立藤代高等学校 校長 秋山 克巳